



## ファンライド"鏡野2025 開催

9月28日(日)、ファンライド鏡野2025が開催され、全国各地から参加した高校生から80歳代の413人が初秋の鏡野を駆け抜けました。

今回も、富地域を走行するルートを設定し、ロングコース100km、ミドルコース60kmを友人や家族と一緒に越畑、奥津溪、のとり温泉、苦田ダムなどを各自のペースで巡っていました。各エイドでは、女性部メンバー、役員、富婦人会、越畑ふるさと村の方々が補給食を振る舞い、ライダーの体を癒していました。



ファンライド鏡野2025  
実行委員会 実行委員長  
河原 伸一

### 『挑戦と夢と感動』

ファンライド鏡野は、鏡野町という素晴らしい町を世界中の人たちに知ってもらいたいという思いで立ち上げた大会です。心配していた天候もなんとか雨に降られることもなく、無事大会を終えることが出来ました。大会内容については、反省すべきところが多々ありましたが、それらを教訓に『ウエルカムサイクリストの町！鏡野』を目指して今後も頑張ってまいります。そして、ファンライド鏡野を通じて、町や商工会を中心に各種企業団体が心ひとつにして、真心を持った連携ができるように努力してまいります。結びになりましたが、本大会へのご支援・ご声援、誠にありがとうございました。

## 鏡野地区・上齋原地区合同視察研修

令和7年11月13日(木)に鏡野地区・上齋原地区活性化委員会の合同視察研修を開催し、会員21名(事務局含む)が広島方面へ参加いたしました。今回は、広島市内を中心に二つの視察場所を訪れました。

最初に、2025年3月24日にグランドオープンした広島駅の駅ビル「ミナモア」を見学しました。同施設はショッピングモールを中心に展開し、約220店舗のショップが出店しており、多くの人々を集める高い集客力を持っていました。

次に、2023年12月28日に竣工した広島のサッカースタジアムを見学しました。案内人との会話で、このスタジアムの建設に至るまでには、署名活動を経て、約10年の長い年月と多くの関係者の熱意が込められていると感じました。立地条件も良好で、市民や県民の皆様が気軽に利用できる場所に位置していることから、地域の意見や提案、そして長きにわたる活動の意義を実感しました。岡山県でも現在サッカースタジアムの建設に向けて気運が高まっていますが、私たちもできる範囲で協力していきたいと思います。

昼食は、庭園と料亭「半べえ」にて、重森三玲氏が手掛けた美しい庭園を望みながら、会員間の親睦を深めました。

今回の視察研修を継続して開催していきたいと考えており、引き続き地域づくりの一助となる研修を充実させてまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



▲新サッカースタジアム「エディオンピースウィング広島」にて

鏡野地区活性化委員長 河原 伸一